

明聖TOPICS

発行:学校法人 花沢学園 千葉市中央区本千葉町10-23
 明聖高等学校 TEL.043(225)5622

URL:http://www.meisei-hs.ac.jp

スローガン
〈赤組〉
 赤組戦隊赤 DANGER!
〈白組〉
 おも白き こともなき世を おも白く

第16回 体育祭

① 閉会式
 ② 応援合戦①
 ③ ニム三脚
 ④ 障害物・パン食い競争
 ⑤ デカパンリレー
 ⑥ クラス対抗長縄跳び
 ⑦ 体育チャンピオン決定戦
 スピート王 予選
 ⑧ 応援合戦②
 ⑨ 台風の目
 ⑩ 明聖コレクション2016
 体育チャンピオン決定戦
 スピート王 決勝
 ⑪ 色別対抗リレー
 ⑫ 閉会式



10月13日(木)本校総合グラウンドにて第16回体育祭が開催されました。

〈1年生〉 ニム三脚

二人の足首を鉢巻で縛り、三脚で走り、勝敗を競います。初めての体育祭である1年生が、クラスメイトとペアをつくり、息を合わせてゴールを目指しました。

とても緊張しましたが、クラスメイトと息を合わせ、転ばずにテンポ良く走ることができました。結果は1位をとることができてとても嬉しかったです。

(1・1 阿尾悠生)



〈2年生〉 「障害物・パン食い競争」

ネットをくぐり、ハードルを越え、棒に吊るされているパンを口で取り、そのまま走ってゴールを目指します。例年の障害物競走にパン食いゾーンを新たに追加して行った競技でした。パンを口で取ることに苦戦している生徒を後ろから

追い抜かず場面も見られ、とても盛り上がりました。障害物は思っていたより難しくなかったけれど、パンが全然とれなくて遅くなってしまいました。

(2・1 川口玲奈)



〈1・2年合同〉 「台風の目」

長い棒を5人で持ち、コーナを8の字に回って往復し、次につなぐ競技です。1・2年合同で行いましたが、両組ともすばらしいチームワークを發揮し、抜きつ抜かれつの展開が続きました。そして最終的には赤組が見事に勝利しました。

〈3年生〉 「デカパンリレー」

2人でひとつのデカパンをはいて走るといふ競技でしたが、パワーあふれる走りをして、途中苦戦しながら走ったりと、とても楽しい競技となりました。

デカパンリレーは、やる分にも観る分にも楽しく、僕はペアになった友達と笑いながら一生懸命走りました。

(3・2 根元裕希)



最初は、5人でやるからとても簡単だろうと思っていたのですが、実際やってみると、内側の人はとても力を使う競技で、大変でした。でも、しっかりと走りきり、次の走者に棒をつなぐことができたので良かったです。

(1・3 山口武甲)



明聖コレクション

「明聖コレクション2016」担任の先生を变身させる3年生の名物競技です！赤組は1組担任吉澤先生がセーラームーンに、白組は2組担任鶴見先生が、漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の両津勘吉に变身しました。生徒たちは各部位ごとに衣装やメイク道具を持ち、時間内に担任の先生を变身させました。どちらも非常に完成度の高いものとなりましたが、審査員のハートをより一層掴むことのできた赤組が、勝利を収めました。



デカパルレ

メイクや女装をした吉澤先生は、ヒールで歩くのが大変そうでしたが、とても似合っていて面白かったです。鶴見先生もとても似合っていました。(3・1谷口小百合)

「応援合戦」

赤組は人気KPOPグループのBIG BANGの「BANG BANG BANG」の曲に乗せたダンスを披露しました。フォーションが目まぐるしく変わるダンスを、応援団員が息を合わせて踊りました。グラウンド全体が大いに盛り上がりまりました。



白組

赤組



対する白組は、「南中ソーラン」です。学ランを着て、気合の入った声を響かせました。応援団以外の生徒も一体となった応援を披露しました。各色、工夫を凝らした演出でもとても素晴らしく、敵同士健闘を称える拍手が響きました。結果は僅差で白組の勝利でした。

「クラス対抗長縄跳び」

生徒全員が、同時に縄を跳び、3分間で跳べた回数と飛んだ人数によって順位が決まります。

全クラスが同時にスタートし、回数を数える声、タイミングを図る声などがグラウンドに響きわたりました。結果は見事な団結力を発揮した2年3組が優勝しました。

「体育チャンピオン決定戦スピード王」

40メートルの徒競走を実施しました。各クラスのスピード自慢の生徒が集い、明聖高校のスピード王の座をかけ、競い合いました。各組の予選で1位になった4名で行う決勝レースは、男女共に熱いレースになりました。見事優勝したのは、男子の部3・1松川知央くん、女子の部1・2小井土れいなさんでした。



「色別対抗リレー」

体育祭の最後を締めくくる色別対抗リレーは、各色担当の先生も参加し、まさに総力戦となりました。迫力あるレース展開に、応援する生徒の声も自然と大きくなります。最終的には赤組に軍配が上がりました。悪天候に見舞われた今年度の体育祭は、気温も低く、雨が降る中行われましたが、生徒たちは熱気に包まれグラウンドは寒さも忘れるほど盛り上がりしました。そして、第16回体育祭の栄えある優勝杯は赤組の手に渡りました。



デッドヒート!!

実行委員の仕事は忙しくて大変でした。当日の天候も悪かったのですが、最後の体育祭だったので、今年こそは勝ちたいという気持ちが強かったです。その結果、優勝することができ、本当に嬉しかったです。(3・1百井砂和)

【結果発表】

総合優勝 赤組

各賞受賞者

〈最優秀選手賞〉

3年1組 伊佐治 翼

〈優秀選手賞〉

3年1組 百井 砂和 3年2組 竹原 郁哉

〈敢闘賞〉

3年1組 飯島 涼 3年1組 福島 唯
3年2組 寺井 陸 3年2組 江澤 華凜
1年1組 齊藤 亮輔

〈団旗デザイン賞〉

2年1組

〈体育チャンピオン決定戦〉

スピード王

男子の部

3年1組 松川 知央

女子の部

1年2組 小井土 れいな

〈クラス対抗長縄跳び〉

2年3組



団旗デザイン賞受賞!



明聖祭

～合唱の部～



11月9日(水)に千葉県教育会館大ホールにて、明聖祭「合唱の部」を行いました。

どのクラスも短い期間ではありましたが、限られた時間の中で集中して練習に取り組み姿が見られました。今年度は午前中にステージ上でリハーサルを行い、午後からの本番に備えました。

本番当日、緊張感漂う中、トップバッターとしてステージに上がったのは1年3組です。課題曲の「夢の世界を」と自由曲の「明日への扉」をしっかりと歌いきり、最高の幕開けとなりました。

最初だったのでとても緊張したけれど、練習よりも本番の方が楽しかったです。

(1・3 石原未紗)

続いて2年2組の「secret Page」君がくれたもの」です。少人数ではありましたが、繊細なメロディーを奏でました。3番手は、2年3組の「空も飛べるはず」。途中、みんなで手拍子をする演出を取り入れ、会場中が温かい拍手に包まれました。

歌っているときはすごく楽しくて、観客と一緒に手拍子してくれたことも嬉しかったです。一つにまとまっていたと感じました。

(2・3 正木アケミ)



前半のトリを務めたのは3年1組の「あなたに」です。さすが3年生という声量と、アカペラで歌い上げるパフォーマンスを披露し、会場を大いに沸かせました。

後半の部は、1年2組の「ホール・ニュー・ワールド」からスタート。アラジンの世界観を豊かに表現しました。続く2年1組は「心の瞳」です。クラス一体となったハーモニーは美しく、心に響くものでした。1年1組の「遙か」は、初めての合唱祭とは思えない堂々とした歌声で、観客を魅了しました。そして、最後を締めくくるのは3年2組の「虹」です。クライマックスでは、数人ずつが前に出て歌う演出を見せ、今までの経験を凝縮した密度の濃い発表となりました。

他のクラスに負けない良い合唱だったと思います。今まで練習してきた成果を発揮できて、価値ある内容になったと感じます。

(3・2 松田健太郎)

すべてのクラスの発表が終わり、いよいよ結果発表です。今年度は、金賞1年1組、銀賞1年2組、特別賞3年1組となりました。1年生の勢いが2・3年生を上回り、客席からも大きな拍手が起こりました。

最後の方の発表だったので、少し緊張しましたが、金賞をとることができました。プレッシャーに負けず、普段通りに歌うことができました。

(1・1 加藤聖也)



本番では皆の頑張りや銀賞という形になり、今までの練習は無駄ではなかったとわかりました。とても嬉しかったです。皆で取れた銀賞はかけがえないものです。

(1・2 江田舞織)



どのクラスも昨年よりも確実にレベルアップした歌声を披露し、本番に向けてのモチベーションの高さが感じられました。また、実行委員も委員長を中心に責任感を持ってそれぞれの仕事に取り組みました。

昨年度の実行委員長の手際の良さを見ていたので、それを目標に、みんなに協力してもらいながら準備をしました。非常に良い経験となりました。

(3・1 石橋友稀)

各クラスが感じた喜びや悔しさを胸に、来年度もさらに充実した合唱の部を作り上げ

てほしいと思います。

この合唱の部をもって、今年度の明聖祭が全て終了し、総合結果が確定しました。

《明聖祭結果発表》

総合優勝

3年1組

準優勝

1年1組

さすが3年生、見事な優勝を飾り、明聖高校の行事を引っ張ってくれました。

そして1年生、初めての行事の中で、すばらしい結果を残しました。たゆまぬ努力の結晶ですね。

3年1組、1年1組の皆さん、本当におめでとう！



部活動報告

サーフィン部

歴史的快挙!



2016年サーフィン界は、明聖高校サーフィン部にとって語り継がれる年になりました。
ボディボード部門では、10月8日～9日にかけて宮崎県にてPBA(日本プロボディボード連盟)のツアー最終戦が終了し、年間の獲得ポイントで争うグランドチャンピオンが決定しました。見事に女子グランドチャンピオンを決めたのは平成25年度卒業生の大原沙莉さん!
そしてサーフィン部門では、10月14日～16日にかけて千葉県一宮町にてJPSA(日本プロサーフィン連盟)のツアー最終戦が行われました。男子グランドチャンピオンを決めたのは、平成23年度卒業生の加藤嵐くん(写真上 真ん中)、そして、そして女子グランドチャンピオンを決めたのは現役生 WEB コース1年生の川合美乃里さん!(写真下)
プロの世界で3名の日本チャンピオンが明聖高校!感激です。



サッカー部

千葉県高等学校新人サッカー大会



平成28年度千葉県高等学校新人サッカーの部第5ブロック予選が、市立稲毛高校と泉高校にて、行われました。
今回は、1、2年生のみの大会です。これまで試合に出場することができなかった選手も一生懸命頑張つてボールを追っていました。
試合は開始5分、人数が九人と少なかったため、どうしてもスペースが空き、そこを相手に自由に使われ、右サイドから突破を許し、失点。その後、2・3土橋、2・1加藤、2・3佐藤、2・5黒田らのDFラインとそれを統率するキーパーの2・2旭が懸命に守るも、人数の差は埋め難く、前半だけで、2桁の失点を許してしまいました。しかし、そんな中でも、前半21分、黒田の超ロングパスが相手のDFとキーパーの間に上手く落ち、それを中盤の要である2・5早川がループを狙い、得点を奪いました。後半になり、プレーで怪我をしたまま、ピッチに残り、全力でボールを追った、2・2大河、1・3斎藤、1・2服部らの健闘、また、PKをセーブするなど随所にすばらしいプレーを見せたキャプテン旭の指示出しをする声も響き渡りましたが、1・18という大敗を喫してしまいました。しかし、これが彼らにとってスタートです。今後1つずつ学年が上がり、「下級生らとよりサッカー部を強くしたい、今後の試合では絶対に負けない。」と力強く誓う選手たちへ今後も応援をよろしくお願いたします。

試合は開始5分、人数が九人と少なかったため、どうしてもスペースが空き、そこを相手に自由に使われ、右サイドから突破を許し、失点。その後、2・3土橋、2・1加藤、2・3佐藤、2・5黒田らのDFラインとそれを統率するキーパーの2・2旭が懸命に守るも、人数の差は埋め難く、前半だけで、2桁の失点を許してしまいました。しかし、そんな中でも、前半21分、黒田の超ロングパスが相手のDFとキーパーの間に上手く落ち、それを中盤の要である2・5早川がループを狙い、得点を奪いました。後半になり、プレーで怪我をしたまま、ピッチに残り、全力でボールを追った、2・2大河、1・3斎藤、1・2服部らの健闘、また、PKをセーブするなど随所にすばらしいプレーを見せたキャプテン旭の指示出しをする声も響き渡りましたが、1・18という大敗を喫してしまいました。しかし、これが彼らにとってスタートです。今後1つずつ学年が上がり、「下級生らとよりサッカー部を強くしたい、今後の試合では絶対に負けない。」と力強く誓う選手たちへ今後も応援をよろしくお願いたします。



定通総合文化大会

10月22日(土) 松戸南高校にて、第54回千葉県高等学校定時制通信制総合文化大会が行われました。

書道の部

全日コース3年生、WEBコース2年生の書道作品22点を展出し、3・1田幡美采歩さんが銅賞を受賞しました。
また、3・1小林悠大くん、3・2小林晃大くん、田嶋陽風さんが佳作を受賞しました。

絵画の部

全日コース1年生、WEBコース2年生が美術の授業で学んだ技法を生かし、描きあげた作品10点を展覧しました。その中で、1・1鈴木陽音さん、1・2澤本好さんが佳作を受賞しました。

被服・手芸の部

全日コース1、2年生が家庭総合の授業で制作した花瓶敷き等の作品18点を展覧しました。その中で、2・3木村比那さん、正木アケミさん、渡邊早希さんが佳作を受賞しました。

絵を描く際に工夫した点は、色を何回も重ねて塗ったり、光や影に注意して色を付けた点です。賞を獲得できて、とても嬉しいです。
(1・2 澤本好)

今回、各賞に輝いた皆さん、おめでとうございます。授業で学んだ技術を生かし、見事な作品が多数できあがりました。今後も芸術作品とおして、自己表現をしていきましょう。

編集後記

早いもので今年も、残すところ1カ月を切りました。この1年を振り返る重要な時期でもあります。皆さんは、どんな1年をお過ごしになりましたか。

明聖高校の生徒たちにとって、この2016年は、行事や研修に囲まれ、充実した1年だったことでしょう。忙しいスケジュールの中でも、積極的に活動し、楽しもうとしている様子をよく目にすることができました。そんな生徒たちの活躍する姿を今号でもご覧いただければ幸いです。(吉田 彩奈)

